

平成29年度第1回
東京都江戸東京博物館資料収蔵委員会
資料評価部会（典籍・文書部会）

平成29年10月18日（水）
東京都江戸東京博物館 2階会議室

午後 1 時 47 分開会

矢中企画調整課課長代理：定刻前ではございますが、出席者の方がおそろいですので、部会を始めさせていただきます。

本日は、お忙しい中、御出席いただきましてありがとうございます。

ただいまから「平成29年度第1回東京都江戸東京博物館資料収蔵委員会 資料評価部会（典籍・文書部会）」を開催いたします。

私は、東京都生活文化局文化振興部で文化施設担当の課長代理をしております矢中と申します。本日の司会を務めさせていただきますので、どうぞよろしくお願いいたします。

改めて御説明させていただきますと、資料収蔵委員会につきましては、収集部会と評価部会がございまして、収集部会は江戸東京博物館の収蔵品としてふさわしいか否かを御審議いただく会、評価部会につきましては収蔵品としての価格を委員の皆様にご評価いただく会となっております。

本日午前10時から収集部会を開催いたしまして、当部会でこれからお諮りする案件については、収蔵するのが適切であるという御意見を既にいただいているところでございます。

本部会におきまして、都民の財産となりますこれらの貴重な資料につきまして、適正な価格評価をよろしくお願いいたします。

初めに、東京都江戸東京博物館の小林副館長から御挨拶を申し上げます。よろしくお願いいたします。

小林副館長：江戸東京博物館資料収蔵委員会の評価部会にお集まりいただきまして、まことにありがとうございます。今年度第1回の資料収蔵委員会でございます。

本評価部会は、絵図や版本などの歴史資料を評価していただくこととなります。どれも常設展示室や展覧会での活用が可能であり、また江戸東京博物館には必要不可欠な資料と認識しております。

厳しい博物館運営と限られた予算の中で、厳選しました資料収集に努めてまいりました。本日は評価のほう、よろしく御審議のほどお願い申し上げます。

矢中企画調整課課長代理：ありがとうございます。

では、本日御出席いただきました委員の皆様を順に紹介させていただきます。恐縮ですが、私から見て左の席のほうから順に御紹介をさせていただきます。

まず、加藤委員でございます。

永井委員でございます。

湯浅委員でございます。

菰池委員でございます。

平野委員でございます。

続きまして、事務局の職員を御紹介いたします。

東京都江戸東京博物館事業企画課長の飯塚でございます。

それでは、これから議事に入りたいと思いますが、これに先立ちまして、当部会の審議

内容の公開について御説明申し上げます。

当部会は、東京都江戸東京博物館資料収蔵委員会設置要綱第12の規定によりまして、原則公開となっております。そのため、委員の皆様のお名前と現職名は、東京都のホームページ上にて公開しております。一方で、当部会で審議を行います評価対象資料の価格評価に関する議事につきましては、同要綱第12第1項（1）の規定により非公開としております。

また、当部会の議事録につきましては、同要綱第12第2項の規定より、資料収集決定後、公開を予定しております。公開に先立ちましては、事前に委員の皆様に御確認をお願いしたいと考えております。

なお、同要綱第12第2項（1）の規定によりまして、その際も委員個別の価格評価の内容につきましては非公開という取り扱いとなります。

公開につきましてはの御説明は以上です。

それでは、議事に入りたいと思います。

まず、飯塚課長から本日御評価いただく資料の説明をお願いいたします。

飯塚事業企画課長：それでは、説明の前にお手元の資料の確認をお願いいたします。

一番上に本評価部会の座席表、その下、左手に会議次第がございます。

その隣に、A4縦判の委員名簿がございます。

続いて、A4縦判、「東京都江戸東京博物館資料収蔵委員会設置要綱」がホチキスどめでございます。

その隣にA4縦判、「平成29年度第1回資料収蔵委員会 資料評価部会（典籍・文書部会）説明資料」がございます。

その下にA3の横判で、「平成29年度第1回資料収蔵委員会（典籍・文書部会）評価票」がございます。

最後にA3横判で、「平成29年度第1回資料収蔵委員会資料 資料評価部会（典籍・文書部会）」がございます。

なお、お配りしました名簿の肩書などに誤りがございましたら、恐れ入りますが、後ほど事務局へ御連絡いただければと存じます。

また、お手元に置かせていただきました資料につきましては、現時点では未公開の情報が含まれておりますので、会議終了後、回収させていただきたいと存じます。

今回御評価いただく資料について説明いたします。お手元のA4縦判の「平成29年度第1回資料収蔵委員会 資料評価部会（典籍・文書部会）説明資料」をごらんください。

「1. 吉原細見図」、「2. よしはらかの子」について説明いたします。

これらは、元禄期の新吉原の廓内を描いた案内絵図でございます。南北を上下にし、中央に中之町、下の中央に大門口を描いております。また、揚屋と茶屋も記載され、遊女の等級や名前が妓楼ごとに記されております。当館では吉原細見を系統的に収集していますが、本資料は当館で所蔵する貞享年間の「芳原（吉原）細見図」に続く古い時代の資料と

なります。常設展示の「芝居と遊里」のコーナーでの展示及び吉原の研究に役立てることができると考えております。

続きまして、3の「知行付・役人付」(明暦武鑑)でございます。これは、明暦元年(1655)の資料でございます。

当館で所蔵する最も古い武鑑は、明暦4年(1658)のものになりますので、これはそれよりもさらに古いものとなります。当館では、武鑑や地誌を系統的に収集しておりますが、そのコレクションをさらに充実させることができると考えております。常設展の各コーナーで活用したいと考えているところでございます。

説明は以上でございます。何か御質問、御意見はございますでしょうか。

矢中企画調整課課長代理：では、説明を終了させていただきます。

次に、評価方法について御説明申し上げます。

評価票がお手元にお配りしてあるかと思っておりますので、そちらをごらんください。評価票に金額を記載していただき、御署名をいただくという形をお願いしたいと思います。評価額の最高価格と最低価格を除いた残り価格の平均値を本委員会としての評価額とさせていただきます。

評価方法につきまして、何か御質問、御意見などはございますでしょうか。

それでは、実際に資料の実見に移りたいと思っておりますので、御移動をお願いいたします。資料に関する個別の御質問がございましたら、学芸員のほうにお尋ねください。

では、よろしくをお願いいたします。

(委員離席)

(資料実見)

(委員着席)

矢中企画調整課課長代理：議事を再開させていただきます。

資料をごらんになりまして、何か御意見、御質問等はこの場でございますでしょうか。

質問等がございませんようでしたら、お手元の評価票に価格評価と御署名を早速お願いいたします。

なお、金額につきましては消費税込みとなっておりますので、よろしくをお願いいたします。ペンで御記入いただきますようお願いいたします。

記入がお済みになりましたら、係の者が確認いたしますのでお声かけください。確認が終わりましたら御退席いただいて結構です。よろしくをお願いいたします。

(評価票記入)

矢中企画調整課課長代理：記入は終わられましたでしょうか。確認が終わられましたら、御退席いただいて結構です。資料につきましては、机の上にそのまま置いていただければ、こちらのほうで回収いたします。ありがとうございました。

午後2時24分閉会

以上